



遠大勵志

第41回岩手県高等学校 総合文化祭文芸部門 文芸コンクール

10月4日(木)に盛岡市県民会館において、標記の文芸コンクール表彰式が行われました。詩(最優秀1、優秀7、優良7、入選15)、児童文学(最優秀1、優秀1、優良1、入選2)、戯曲(最優秀1、優秀2、優良2、入選3)、短歌(最優秀1、優秀6、優良7、入選39)、俳句(最優秀1、優秀5、優良6、入選28)、随筆(最優秀1、優秀3、優良1、入選5)、小説(最優秀1、優秀5、優良7、入選10)の各部門で入賞者の表彰があり、本校の生徒も7名が表彰されました。紹介します。

【短歌の部】(応募は1878首)

最優秀 高橋観宇(2-1)

『夕焼けの縁側で君と語りあう麦茶に透かす赤い横顔』
『君と僕番付競う答案の決まり手英語今場所は負け』
『行き先はまだ見つからず夏の空片道きつぷに馳せるわが夢』

※高橋さんは、来年度、佐賀県で行われる
全国総合文化祭への出場が決定しました！

優秀 北湯口美羽(2-3)

『少量の空腹満たす氷菓子野菜はのどを通りたがらず』
『夏休み終わった後の友はみな厚ぬりぎみの小麦のお肌』
『夕立に流してもらうもの多し汗と涙と課題の山と』

入選 浅沼佳奈(2-2)

『胸張って帰国した春決意した夢の終わりは夢の始まり』
『辛い時そっと背中を押した君夜空で放つ光はどこか』
『目が合って照れる私に気づいてる必死に隠す高なる鼓動』

入選 及川穂乃佳(2-2)

『髪切って情も共に捨てたのに理由を聞くのは勘弁してよ』
『せみの音を無視して君にすがりつく光熱費なんて今は忘れて』
『真夜中のバスに揺られて胸躍らせ窓をのぞけばネオンが光る』

入選 高橋 梨(2-4)

『いつか見た淡き緑の蛍火よ今やスマホの通知のライト』
『甘き香が混じる溽暑の教室で君の香りを探してしまう』
『夏の月昼間の暑さで火照ったか夜でもさめぬあかいろの頬』

【俳句の部】(応募は2286句)

優良 小野真優菜(2-5)

『台風や人の悩みだけつれて行け』
『気がつけば西瓜一個の身長差』
『起きなさい母が呼ぶ声蝉以上』

入選 新田萌衣(2-1)

『母の日が恥ずかしいのは父譲り』
『日常をかきわけ進む初嵐』
『秋の日に天が吸いこむ白綿毛』

いずれも素晴らしい作品です。おめでとうございます！

過去に「全国高等学校文芸コンクール」において、入賞した本校の先輩方の様子を調べてみました。

- ・1986年(第1回)小説部門「優秀賞」
- ・1987年(第2回)短歌部門「優良賞」
- ・1996年(第11回)短歌部門「優良賞」
- ・1999年(第14回)詩部門「優良賞」
- ・2000年(第15回)詩部門「優良賞」
- ・2001年(第16回)詩部門「優良賞」、随筆部門「優秀賞」
- ・2006年(第21回)随筆部門「優秀賞」
- ・2012年(第27回)俳句部門「優秀賞」
- ・2013年(第28回)俳句部門「優秀賞」
- ・2014年(第29回)俳句部門「優秀賞」

先輩方の作品が、全国の舞台でも高い評価を得ていたことを知りました。本校の生徒のみなさんの運動、文化、芸術あらゆる分野での高き才能にあらためて気づかされました。

いろいろなことにどんどんチャレンジしましょう！

第41回岩手県高等学校 総合文化祭開会式 北上で開かれる！

総合開会式テーマ

「その道の開拓者となれ若人よ」

10月5日(金)13:00から北上市文化交流センター(さくらホール)において、県高総文祭開会式が行われました。



北上支部の5校(黒北・黒工・北上翔南・専北・西和賀)が協力連携して、準備運営に携わってきました。

進行も演出も生徒のみなさんが一生懸命準備しただけのことがあり、プロのように感じられるものでした。



最初に、北上支部4校の吹奏楽部合同演奏で開会式の幕があがり、合唱・器楽の発表は黒北音楽部・北上翔南器楽部。書道パフォーマンスは北上翔南書道部。鬼剣舞は北上翔南郷土芸能部。ステージドリルは専北吹奏楽部と、本当にい

すれも練習の成果が随所に見える素晴らしいものでした。ステージ



発表が終わるたびに大きな拍手が観客席から起こって



いました。
発表の合間には、北上支部5校

の生徒のみなさんが考えた4つの生徒企画①②③④があり、北上の歴史文化を紹介する場面、鬼剣舞部勧誘寸劇、北上市の名所を学ぶ場面、北上市クイズな



ど様々な工夫が凝らされていて大変に楽しめました。

北上市クイズでは最後に「全問正解の方はお立ちください」と言われましたが、少々恥ずかしい私は全問正解しましたが立ち上がりませんでした。(ごめんなさい)。準備に関わったみなさんはさぞかし大変だったと思います。最後のフィナーレはステージに、わんこ兄弟の「そばっち」も駆けつけてくれ、みんなで「わんこ兄弟のダンス」をステージ一杯に披露してくれました。



開会式は生徒企画委員長(黒沢尻工業高校)を中心に、この北上支部の生徒のみなさんが熱心に考え準備してくれました。

本校からも生徒企画委員に4名。運営委員舞台係として「進行・放送・字幕」に16名、「装置・照明・音響」に4名。運営委員会場係として「受付」に20名、「茶席」に6名。総合開会式の吹奏楽に37名、合唱に6名の生徒のみなさんに、ご協力いただきました。本当に有り難う！素晴らしい開会式になりました。終了後、さくらホールの出入り口に多くのみなさんが集まり、来場された方々に対して、「ありがとうございました！」と大きな声で心から感謝を伝えている光景も印象に残っています。

来年度の県高総文祭の担当地区は一関とのことと、大会旗が、北上支部から一関支部に手渡されました。



平成30年7月豪雨災害募金

¥30,004円 義援金として協力

6月28日から7月8日にかけて西日本を中心に、台風7号や梅雨前線の影響による集中豪雨が起き、多くの地域の河川の氾濫や浸水害、土砂災害が発生しました。被害に遭われた方々には、心よりお悔やみとお見舞いを申しあげます。この豪雨災害に対して、本校の福祉活動委員会が中心となって、8月下旬から黒陵祭を通して募金活動を行いました。各クラス、黒陵祭来場者、本校職員から上記の金額が寄せられました。生徒の皆さんの主体的な行動に感謝します。

10月1日に「日本赤十字平成30年7月豪雨災害義援金」を通して募金いたしました。皆さまの募金のご協力に感謝します。